



## 建築技術性能証明書

技術名称：床 CCB-NAC 工法

—異形鉄筋を用いるひび割れ誘発目地付床スラブ構法—

申込者：CCB 工法協会工法研究会

(代表会社) 株式会社浅沼組 代表取締役社長 浅沼 誠  
大阪府大阪市浪速区湊町一丁目 2 番 3 号マルイト難波ビル

技術概要：本技術は、鉄筋コンクリート造スラブ表面にひび割れ誘発目地として鉛直方向のカッター欠き込み目地、ひび割れ誘発材、および目地平行スラブ筋を一直線上に配置するものであり、床スラブの耐力を目地部以外の床部分のスラブ厚さを用いて既往の設計式で評価することを目指した工法である。

開発趣旨：従来の鉄筋コンクリートスラブの乾燥収縮ひび割れ対策はコンクリートの表面に断面の切欠きを設けて乾燥収縮ひび割れを目地位置に誘発するものである。しかし部分的ではあるが断面欠損があることにより耐力の低下が懸念されるため、通常は目地深さを減じたスラブ厚さにて設計を行う。本技術は、目地部以外の床部分のスラブ厚さを用いて既往の設計式で評価できることを確認し、施工において目地深さ分の増し打ちを不要とすることを可能としたものである。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。

2025 年 12 月 23 日

一般財団法人 日本建築総合試験所  
理事長 川瀬 博



記

証明方法：申込者より提出された下記の資料により性能証明を行った。

資料 1：床 CCB-NAC 工法 性能証明のための説明資料

資料 2：床 CCB-NAC 工法 設計・施工指針

資料 1 には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。

資料 2 は、本技術の設計施工指針であり、適用範囲、使用材料、設計方法、施工方法などが示されている。

証明内容：申込者が提案する「床 CCB-NAC 工法 設計・施工指針」に従って設計・施工されたひび割れ誘発目地付床スラブは、目地無しのスラブと同等の構造性能を有し、床スラブの耐力を目地部以外の床部分のスラブ厚さを用いて既往の設計式で評価できる。

---

### CCB 工法協会工法研究会 参加企業

株式会社浅沼組 代表取締役社長 浅沼 誠

大阪府大阪市浪速区湊町一丁目2番3号マルイト難波ビル

西松建設株式会社 代表取締役社長 細川 雅一

東京都港区虎ノ門一丁目17番1号虎ノ門ヒルズビジネスタワー

株式会社 NIPPO 代表取締役社長 和田 千弘

東京都中央区京橋1丁目19番11号

大日本土木株式会社 代表取締役社長 松 雅彦

岐阜県岐阜市宇佐南1丁目3番11号

五洋建設株式会社 代表取締役社長 清水 琢三

東京都文京区後楽2丁目2番8号

共立建設株式会社 代表取締役社長 榑原 明

東京都渋谷区道玄坂1丁目16番10号

松尾建設株式会社 代表取締役社長 松尾 哲吾

佐賀県佐賀市多布施一丁目4番27号

株式会社熊谷組 代表取締役社長 上田 真

東京都新宿区津久戸町2番1号

東亜建設工業株式会社 代表取締役社長 早川 毅

東京都新宿区西新宿3丁目7番1号 新宿パークタワー31階

飛鳥建設株式会社 代表取締役社長 築地 功

東京都港区港南1丁目8番15号Wビル5階

株式会社長谷工コーポレーション 代表取締役社長 熊野 聡

東京都港区芝2丁目32番1号

三井住友建設株式会社 代表取締役社長 柴田 敏雄

東京都中央区佃2丁目1番6号

青木あすなろ建設株式会社 代表取締役社長 望月 尚幸

東京都港区芝4丁目8番2号